

学校の取組から

各学校のICTを活用した学校運営や授業での取組を紹介します。

西が丘小学校 5年社会科「暮らしを支える食料生産」

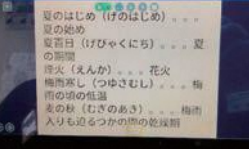
スクールタクト上の都道府県の白地図に、デジタル化したスーパーのチラシから野菜など食料品の写真を切り抜き、産地別に貼り付けていきます。貼り終わった白地図を見て各自が気付いたことを「きたコン」に入力した後、グループで共有して生産地の傾向などについて意見交換をしました。

話し合いでは、「同じ野菜の産地が北にも南にもあるのはなぜ？」など新たな疑問が生まれて、それを解明したいという気持ちが学習意欲を高め、学びを深めることにつながっていきます。



滝野川小学校 6年国語「季節の言葉・夏のさかり」

夏を感じさせる言葉を使って俳句をつくることで、季節を表す言葉（ごい）を豊かにすることがねらいの学習です。ロイロノートで、1枚目につくった俳句、2枚目に俳句で使える言葉の意味を調べて提出します。共有して友達の俳句を読み合い、分からない言葉も2枚目を見てすぐに意味を理解できます。



俳句はプリントして簡単なカットを描き加えて教室内に掲示していました。こんな素敵な俳句を見つけて温かい気持ちになりました。

『青空に からんと鳴った ラムネ瓶』

滝野川第二小学校 特別支援学級での取組

滝野川第二小学校では、特別支援学級でも積極的にICT活用に取り組んでいます。4・5年生ではプログラミングや情報モラルの学習を行い、情報モラルではインターネットを使うときに気を付けることや上手な使い方をアニメーション動画を使って学びました。

6年生では、著作権、個人情報の管理、プレゼンテーションの方法を学ぶなど、計画的に情報活用能力の育成を実践しています。発表の場面では、スライドに理由をつけて説明できる児童もいて、伝える力がしっかり育っているのを感じました。



きたちゃんコンちゃん

by Toshi



授業と家庭学習をつなぐ。「きたコン」の持ち帰り

学習活動のデータは、すべてインターネット上のクラウド(サーバー)に保存されていますので、「きたコン」で授業の続きを家庭でも行うことができるようになりました。各学校では次のような「きたコン」を生かした家庭学習が始まっています。

1. 授業の復習

- ・学習の振り返りやまとめを入力して提出
- ・友達の考えを見て、自分の考えを深める学習
- ・「きたコン」のドリルなどでの確認問題(自動採点)

- ・音読や歌・楽器の録音と提出(国語や英語、音楽等)

2. 授業の予習

- ・配信されたダンスなどの動画で動作確認(体育等)
- ・学習内容に関する事前の個別学習(情報収集等)

3. 自主学习

- ・自由なテーマで調べたり体験したりする活動

「きたコン」を活用することで、児童・生徒が自主的に家庭学習に取り組む、学習習慣が確立するよう、保護者と学校との連携もさらに進めてまいります。